

あけましておめでとうござい
ます。

昨年を振り返りますと、新型コ
ロナワクチン接種が始まり、医療
関係者の皆様のご協力もあり全国
トップレベルのスピードで実施す
ることができました。また六十谷
水管橋崩落では市民の皆様が大変
なご不便をおかけしました。一方
で、まちなかの5大学すべてが開
学し、和歌山城ホールの完成、紀
の国わかやま文化祭2021開催など、

あけましておめでとうございま
す。

市民の皆様方には希望に満ちた
新年をお迎えのこととお慶び申し
上げますとともに、平素から市政
の発展と議会運営に対してご理解
とご協力をいただき、深く感謝申
し上げます。

昨年を振り返りますと、10月に
六十谷水管橋破損により、多くの
市民の方々に大変なご迷惑をおか
けしました。また、全国に広がっ

長年取り組んできたまちの成長に
資する事業が完了したことで、コ
ロナ禍のなかでも久しぶりに新た
なまちの賑わいが生まれました。

新しい店舗などもオープンし、大
学生が地域課題に取り組むなど市
民の皆様が様々な場面で活躍する
姿を見ることができた年でした。

こうした新しい動きが出てくる
なか、行政手続きのデジタル化、
介護と子育て、市民生活と観光の
2つの側面での交通など、複数

た新型コロナウイルス感染症は、
外出自粛など市民生活に大きな影
響を及ぼし、消費や生産活動の低
迷を招いたことで地域経済に大き
な打撃を与えました。

しかし、感染拡大等が一定の落
ち着きを見せ、和歌山市内では、
にぎわいの文化交流拠点である和
歌山城ホールの開館や、日本最大
の文化の祭典である「第36回国民
文化祭わかやま2021・第21回全国障
害者芸術・文化祭わかやま大会」

の部署にまたがる行政課題が多く
なってきたいます。これまででは既
存の組織が横に連携して取り組ん
できましたが、これからはさらに

迅速かつ確実に課題解決を進めら
れるよう、特定の課題ごとに全庁
一丸となって取り組めるような新
しい体制で対応していく必要があ
ります。

今年、「和歌祭四百年式年大
祭」や「有吉佐和子記念館」のオー
プンなど、昨年の国民文化祭に続

の開催で多くの皆様の笑顔を見
させていただき、まさに文化元年
の年となりました。

市議会といたしましては、徹底
したコロナ感染拡大防止対策に取
り組みながら、市民の皆様の下、
しを守るといふ強い使命感の下、
和歌山市に住んで良かったと実感
していただけるよう「文化の香り
高く、活気に満ちた、笑顔にあふ
れる」魅力あるまちづくりの実現
を目指し、今後もオール市議会

き、和歌山市に息づく文化がさら
に新しい花を咲かせる年となりま
す。今年も市民の皆様とともに新
しい課題にも積極果敢に挑戦し、
住みたいと選ばれるまちに向け市
政運営に全力で取り組んでいく所
存です。

和歌山市長
尾花 正啓



取り組んで参ります。

結びに、市民の皆様方におかれ
ましては、本年が幸多き、キラキ
ラと輝く素敵な年となりますよう
お祈り申し上げます、新年のご挨拶と
させていただきます。

和歌山市議会議長
吉本 昌純

